

——「こんな子に呼び出すと……
いったい誰が……」



——ヤミーちゅわーん♡
お待たせしました♡

あなたですか…校長
くだらない用なら帰りますよ

いえいえ大事な用ですよ♡
それにしてもそのゴミを
見るような視線♡
今日もカワイイですねえ♡

いいから早く要件を言ってください
私は忙しいんです

んふふ…ヤミちゃんには私の
オナホになってほしいんですよ♡

…お…なほ…？

ヤミちゃんの穴という穴を
私のおチンポ専用玩具にするように
性奴隷やペットのようなものですな♡

わかりました…
~~殺します~~

まったく…
いつにもまして気持ち悪いですね…

んぐ…ふふ…相変わらず手厳しい

これに懲りたらしばらく馬鹿なことば
言わないほうが身のためです
次は本当に殺しますよ

—やれやれ…すこし計算違いでしたね…
思ったより効き目が遅いようですね…♡

—何を言っているんですか…
いくら何でも校長…変じゃないですか？

いんや



!!
!!
!!

アハハ

ん...っ?
...ッ...な...ッ?

んみみ...おんちやくですかな...
不良品だと聞いて心配しましたぞ♡
からだか...いったい...
な...にが...ッ

ヤリちゃん...の体...ナンマン...と言いましたかな?
ハッキングツールをいただいたんですぞ♡
とあるスポンサーからね♡

—そんな...バカな...ッ...



うあ…ぐ…ッ
からだか…勝手に…ッ

むほ♡「これはすごい♡
ヤミちゃんの体はもう
私の思い通りに動くようですよ♡

あ…ぐ…ッ
いや…なんで…ッ

あのヤミちゃんが…自分から
おパンツ見せてくれるなんて♡
ついに想いが通じたんですなあ♡

ムンムン

ムンムン





アハハハ

こんなことを…して…ッ
絶対に…ころします…ッ…

アハハハ

おお…こわいですねえ♡
自由にしたら次は本当に殺されてしまっそうでしょ♡

はい…後戻りするなら…ッ
今のうちですよ…ッ

いえ…しませんよ♡
なぜならヤミちゃんに次に自由になるときは
私の従順なオナホになったときですからね♡
もう危険はありませんぞ♡

それに…ヤミちゃんにも
メリットがありますぞ♡

く……あ……ん
さわ……らないでください……ん

えっちいのがお嫌いなヤミちゃんに
女の喜びというものを私が
しっかり教育するのですからな♡

ヤミ

ヤミ

ヤミ

ヤミ

ヤミ

あーん...
あーん...
あーん...

あーん...
あーん...
あーん...

あーん...
あーん...
あーん...

おほほ...多少いじりましたけど...
感度も十分ですよ♡

ん...あ...
ん...あ...
ん...あ...

あーん...
あーん...
あーん...

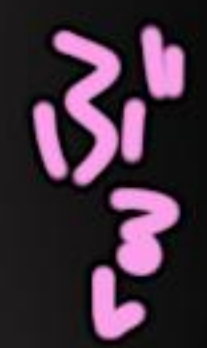
あーん...
あーん...
あーん...

あーん...
あーん...
あーん...

あーん...
あーん...
あーん...

あーん...
あーん...
あーん...





——んふ…あのヤミちゃんが涙目…
 少し怖かったですかな？

もう…許しません…
 見損ないました…
 次は本当に殺します…ッ

んふ…まあまあそんな怖い顔しないで♡
 もう用意はしてあるんですよ♡
 その「の倉庫でぶっくら」続きを楽しまま♡
 ね♡ヤミちゃん♡

んっ

んっ

んっ

んっ

むみみ…んっですか…♡
気持ち良くなってきました♡

んっ Jの…んっ
いい加減に…んっ

んっ Jの♡
せっかくの初めてなんですから♡
カメラに向かって笑顔ですぞ♡

ふざけないでください…んっ
もう無事ではすみませんよ…んっ

むみ…ヤミちゃん…んっ
私には従ったほうがいいですぞ♡

んっ…

んっ

んっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

——まあ従わずとも「いいっ」
ヤミちゃんの体はもっ
私の思い通りなのですが♡

うあ… トランスが…
いったい…どうなってる…っ

おほ♡
ヤミちゃんの髪でオナニーできるなんて
夢のようですよ♡

「んな」ジュロ…
いったい…ん



いいい

いいい

いいい

もったいなかったですね♡
これはヤミちゃん×の膣内に
たっぷり出すものですから♡

なか…？… いったい…ッ
何を言ってる…

ヤミちゃんは知らないんですな♡
私のおテ○ポをヤミちゃんのオマ○コに入れて
この赤ちゃんの元をたっぷり奥に出すのですぞ♡

あ…？… え…？…

怖がらなくてもいいのですぞ♡
男女はこうして愛し合い
赤ちゃんを作るのですからな

や…い…嫌です…っ
はなしてください…ッ

大丈夫ですぞ♡
ちゃんと優しくしますから♡

いいい

いいい

おっ！おっ！おっ！

おっ！おっ！おっ！

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン
——ぐんぐん——？
い……ッ 痛い……ッ

んほ♡
さすがヤミちゃんの処女マ●コ♡
ぴっちり閉じて一筋縄ではいきませんな♡
こんなもの……入るわけ……っ
も……やめてください……ッ

まあまあそう焦らずに♡
感度と膣圧を少しいじって——

おっ！おっ！おっ！

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

は…♡
あ…♡
んあ…♡

むふ♡ 否定する割にはずいぶん
甘い声が出てきましたね♡

ちが…これ…♡
止めなよ…♡ 体…おかしい…♡

ヤレバ

多少はいじったとはいえ
初エッチでこれはヤミちゃん
才能ありますぞ♡

Jの♡

—おふ♡
そろそろ私も限界ですな♡

え…??

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ムシ



—膣内に出しますぞ♡

おっぱい?!

おっぱい!

おっぱい?

おっぱい?

おっぱい

おっぱい

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

——いやあ♡
びっくりするほど出ましたな♡
初めての子作りエッチの感想は
どうですか？

♡……ん♡
「……します……」 ぜったい……♡
あーっ

もう♡
ヤミちゃんは無粋ですね♡
エッチの後は二人で愛を語り合うものですぞ♡



♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

—ほらせっかくの
初エッチ記念ですから♡
カメラに笑顔でポーズですぞ♡

ん……ん……ん……
「J」……「J」……ん……

うーん♡
やはり少し「キ」ちないですなあ♡

もう……いらいでしょ……ん……
そろそろ……解放してくださーい……ん……

むふふ♡
何を言っているのですかな？
ヤミちゃんは「これからずうと」
私のオナホなのですぞ♡

あ……え……？

——今日はとりあえず
私の金玉が空になるまで付き合ってもらいますぞ♡

ヤミちゃん♡

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

——いいですなあ♡
ずいぶん下品な声が出るようになったぞ♡

憎まれ回も出てきませんねえ♡
さすがに感度の倍はまだ早すぎましたかな♡

お…っ♡
も…っ♡ やめ…っ♡
おかしく…なります…っ♡

でしたら教えたとおりにするんですけど
私と一緒にイけたら今日のところは
許してあげますぞ♡

お…っ…っ…？ も…い…っ…♡
いぎます…っ…♡

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

うん

うん

うん

うん

うん

——ついに二人でイけましたねえ♡
ヤミちゃんの処女マンコ
うっそもおいしかったですぞ♡

ぐ……うん♡♡♡
まだ……からだ……変……ッ♡
もどして……ください……♡

むむ♡ それはできませんぞ♡
「うっやうて少しずつ感度をあげて
最終的にチ●ポの香りだけで
イき散らす淫乱にオナホに
なってもらうのですからな♡

「……の……♡
い……やあ……♡

——抵抗は無駄ですぞ♡
まあヤミちゃんは物覚えが良さそうですから
どんどん調教を進めていきますぞ♡

うん

うん

「ん」

むふ♡ こんな公共の場で
おパンツ丸出しにして♡
ヤミちゃんは大胆ですねえ♡

ぐわん
「…これは…あなたが
させたんでしょう…」

おや？ そうでしたかな♡
では次はそのおパンツを下ろして
可愛いお尻を見せてください♡

ぐ…っ…の…っ

それともこの場で裸にさせて
えっちいダンスをしてもらうことも
できますぞ♡

「ん」



おほ♡ これは背徳感が
ありますねえ♡

もう…いいでしょう…ッ
だれかに…見られてしまいます…ッ

大丈夫ですぞ

ここは特殊な車両——
いわゆる痴●電車ですてね♡
たとえヤミちゃん痴態がバレても
みんな温かく見守ってくれますぞ

な…？ は…？

♡♡♡

♡♡

いけませんねえ♡
そんなに甘い声を出しては
寄ってきた痴漢に
犯されてしまいますぞ♡

ふ…ッ♡ い…ッ♡
勝手な…二…ことを…ッ

と…ろでヤミちゃんは今
いくつのおもちやをケツ穴から
ひり出したか把握していますか？
残りがいくつか覚えていますかな？

なぜ…そんな二…ッ

ちよつとしたゲームですぞ♡
もちろん罰ゲームもありますからな♡

ぐ…の二りは…ッ
みっつ…です…ッ

残りは五つですぞ♡
こんなに飲み込んでたんですなあ♡
ん…っ♡ う…っ♡
それにしてもお尻で派手に
イってしまいましたたなあ♡
さすがに気づかれて
しまったかもしれませんで♡

っ…♡

っ…♡

っ…♡

っ…♡



びゅん...

びゅん

びゅん

...びゅん

むふふ♡
ずいぶんお尻の穴も
広がるようになりましたな♡
中はアツアツのトロトロですぞ♡

あう...ツ♡
な...にを...ツ!?

—この際なので周りの方にも
私のヤミちゃんオナホを自慢したく
なりましてね♡
ここからは我慢は必要ありませんぞ♡

あう...

びゅん

びゅん

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

「うやうやして背中側を乱暴に
コロコロすると特にいい声が出ますな♡

やめ…ッ♡
これ…声…でちゃ…ッ♡

はい♡
ヤミちゃんの弱点はコロボですな♡
気持ちいいでしょ♡

おっぱい

アゲアゲ...♡

ガクガク...

アゲアゲ...

むふふ♡ それにしても
ぐっぽりと開きたいやらしいケツ穴に
なりましたなあ♡
ここ数日の成果ですよ♡

あ...うん...ツ♡
これの...何が楽しいんですか...ツ

まあまあそんなに怒らないでください♡
ヤミちゃんにも今にこの
素晴らしさがわかりますよ♡

い...いから...ツ
はやく...おわってください...っ

アゲアゲ...

アゲアゲ...

な……に……ッ
だして……るんですか……ッ

いやいや♡

ヤミちゃんのえっちい穴を見てたら
私も我慢できなくなっちゃいましたね♡

う……嘘ですよね……ッ
そっちは……ちが……ッ

むふ♡
ついにヤミちゃんのケツ穴処女を
いただきますぞ♡

ア……ッ



あ...あ...あ...
んんん

んんん

んん

んんん♡
さすがにこれだけ準備すれば
私のチンポも受け入れる
ことができますな♡

ん...ッ ぐう...ッ♡
や...ふかいです...ッ
とめて...ください...ッ♡

大丈夫ですぞ♡
苦しいのは最初だけですから♡

あーん
あーん

あーん
あーん

あーん
あーん

あーん
あーん

おふ♡これはすごい♡
入口は狭く中は柔らかく
まさに名器ですぞ♡

いっツ あっツ♡
ん…あ…ツ♡

腸液もこんなに溢れさせて
いけない子ですねえ♡

あん…う…ツ♡
これ…やめ…ツ♡
あたま…へんになります…ツ♡

んふ♡
ではそろそろ一発又かせて
もらいますぞ♡

あーん

あーん

あーん



눈... 눈... 눈...

눈... 눈... 눈...

눈... 눈... 눈...

눈... 눈... 눈...

눈... 눈... 눈...

눈... 눈... 눈...

눈... 눈... 눈...

눈... 눈... 눈...

눈... 눈... 눈...

いやあたくさん出てしまいましたなあ♡
いい初体験になりましたね♡

は…っ くっうっ…っ♡…♡

それにしてもヤミちゃん
初オマ●コよりも感じてますな？
私がおかするまでもなく
ヤミちゃんはアナル好きの
えっちい女の子だったのかも
しれませんな♡

ばかに…しないでください…
そんなわけ…ないでしょう…っ

—まあヤミちゃんにも
すぐに理解できますぞ♡
なにせこの電車はまだまだ
到着しませんからな♡

—いやあ♡
「これは名器ですなあ♡
家にお持ち帰りしたくもりますよ♡

—お断りですぞ♡
ヤミちゃんは私のオナホですからなあ♡
今回はあくまでレンタルですからなあ♡

わかってはいますとも♡
それにしてもこの子
可愛い顔してずっとケツ穴で
イキっぱなしですなあ♡

普段気の強い子ほど後ろは弱い
なんてよく言いますからなあ♡

ではまだ順番待ちも
いるようですからサクッと
抜かせてもらいますよ♡

お断りですぞ♡

お断りですぞ♡

お断りですぞ♡

お断りですぞ♡

お断りですぞ♡

お断りですぞ♡

思った通り♡
ヤミちゃんにはこの衣装が良くお似合いですぞ♡

——ん……
また……こんな格好させて……
今度は何のつもりなんですか……

相変わらずつれませんな♡
毎日のように愛し合っているのですから
そろそろ心を開いてくれないのですぞ♡

バカなことを言わないでください
何をされても……
あなたのような人に
私が屈することなんてありませんよ



またそんなことを言っていて♡
ヤミちゃんもまんざらでもないでしょっつ？
なにを…

最近はずいぶん感度をいじらなく^てでも
ずいぶん感じやすくなりましたからな♡
今だってもう体がうずうずしているでしょっつ？♡

そんなわけ…
ないでしょっつ…

ではしっかり自覚をさせてあげますぞ♡
ヤミちゃんがすてじ♡
とってもエッチな女の子だといっしょ♡とをね♡



うあ……ひう……ん

うあ……ひう……ん

うあ……ひう……ん♡
おや……？
まだ服をはだけさせただけですぞ♡
見られるだけで「のありさまとは……」

う……く……つ
好き勝手に……ん

それでは……そうですね
いつもは私ばかり楽しんでますからな♡
今日はヤミちゃんに「しっかり」と
えっちの楽しみ方をレクチャー
する「……」♡



—では、今日はこれを使いますかな♡
は……あ……？

すごいでしょう？
この大きさに形……ヤミちゃんの大好きな
ケツ穴も同時に責められる一品ですぞ♡



はい

はい

ぐ...お...おおき...ッ♡

そういう割には
オマ●コにコッつやってほら...
こすりつけるだけで愛液が
溢れてきますぞ♡

ち...が...っ
これは...ッ

受け入れ準備は万端...
ということですよ♡
では一息に奥まで入れますから
しっかりと一回目を楽しむのですぞ♡

ん...っ♡

ん...っ♡







—今までとは桁違いの快楽でしたでしょう♡
これを覚えてしまったらもう普通のエッチでは
満足できない体になってしまいますな♡

—う…あ…あ…♡

さすがのヤミちゃんも
すっかり呆けてしまいましたねえ♡
さすがに刺激が強すぎましたかな♡

は…あ…♡

では次はもう少し優しくしてあげますぞ♡
ヤミちゃんが素直にえっちを楽しめるようになるまで
ゆっくりと♡

ズンズン…
ズンズン…
ズンズン…



ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

—そうですよ♡
しっかりと乳首、オマ○コ、アナルの刺激を
集中して味わってください♡

いい感じですよ♡
これだけでも気絶せずには
意識を保てるようになってきましたよ♡

—では「ジュン」を
しっかりと私のカウントに合わせて
イクんですよ♡
出来たら今日は終わりにしてあげますからね♡
—ハイ、3、2、1♡

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

ジュン



おっ！

おっ！

おっ！

——よくできました♡

これだけでできればガニちゃんも
しっかりエッチを楽しむことが出来ますな♡

——って、いつまでいっているんですか？
もうおもちやのスニッチは切ってますぞ♡

んん

んん

んん

んん

んん

むむ♡
少しやりすぎたかな♡
コッはっはっ♡



——いやーしかしあのヤミちゃんが校長の愛人で
しかもこんな変態趣味だったなんてなあ……

ウ……ヴ……ッ♡
オヴ……ヴ……ッ♡

すげー乳首だけでイってんの？
こんな姿リトには見せられねえよなあ♡

ヴ……ッ！♡
グ……ら……ッ♡

なにになに？
リトの名前で興奮した？
妬けるな♡♡



もしかして今更状況わかった？
そういやずいぶん人も増えてきたな♡
ヤミちゃん目立つからもうこの町歩けねーかもなあ♡

…は…あ…ツ♡
あ…あ…ツ♡

—さ—てそれじゃあヤミちゃんは
どんな顔してんのかなって♡



え…？ 何言ってるの？
こんなに濡らしといて
嫌だったらヤミちゃんならすぐ
全員ボロボロにできるっしょ♡
そういうプレイ？

…う…猿山くん…ッ
もう…やめてください…ッ♡
これはむりやり…ッ♡

まあどうでもいいか♡
俺はまたヤミちゃんのマンコ使いりや満足だし♡
また処女膜再現するヤツ頼むわ♡

グニャッ
グニャッ
グニャッ

んんん



——ホントに「こんなかわいい子を
僕みたいな浮浪者に使わせてくれるなんて♡
猿●くんだけ 本当「いいの？」

いいですよ
たまには「いいもの」♡

やった♡
名前は…知らないけど今日はよろしく♡
たつぷり犯してあげるからね♡

あーおっさん
ゴムだけちゃんとうつけてね
この子校長の「ペント」すから♡

わかってるよ♡
それじゃあ入れるからね♡

ぐん

うん

はい

はい

はい

はい

—おほ♡
すっ♡ 遊んでる割にオマ●ロキ♡

ん♡♡
♡♡♡♡♡

ん—ムJNKPJGH
♪ヤクムヤクム?

♡♡♡♡♡

ん♡

いや?
嫌がつてるふりっすよコレ
声が聞きたきゃ命令すればいいっすよ
きっちり躡けてあるらしいんで

そうなんだ♡
ねえねえおしさんのチ●ポムンっ?
すっごく大きいでしょ♡

ん♡♡
♡♡♡♡♡

ん♡♡

——ほーら 奥まで入った♡
子宮コソコソしてるのわかるかな♡
どんな感想？ 気持ちいい？

もう…ぬいいて…ください…♡
きもちよく…ないです…♡

えーそうなの
その割にオマ●コぎゅんぎゅん
締め付けてくるけどなあ♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

これで喜んでるっすよ
ほら『命令』だぞ〜
ちよつと答えてあげような♡

う…す…く…お…き…ら…ん…す…♡
子宮がムリヤリ…♡
すぐ…イ…ちや…い…す…♡

うわ♡ すごい豹変♡
催眠術みたいだね♡



—それじゃあオジサン
がんばっちゃうぞ♡

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

——うんうん♡
だいが馴染んできたね♡
それにしても「んな名器じゃ
もう安い嬢じゃ満足できないなあ♡

はやく…おわって…ください…♡
も…くる…♡

おっ

ムムム…

可愛い

ムムム

ムムム

ムムム

おっ

何言ってるの♡
そんな「とよりほら♡ 『命令』だよ♡
一番気持ちいい「」るを自分で言ってる♡
背中側の…おく…♡
おおきいので…♡
えぐられるの…すきです…♡
そうなんだ♡
かわいいのに変態なんだねえ♡

ちが…これは…♡
わたしの…意思じゃ…♡

おっ

おっほ♡
弱点だけにすごい反応だね♡
ぶるぶる痙攣してほんとにオナホみたい♡

おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡

おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡

おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡

あたま…入んになります…♡
あたま…入んになります…♡

おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡

やばいわ♡
おじさんもすぐ出ちゃう♡
もったいないからゆっくりに楽しもうね♡



—あー俺もムラムラしてきたっすわ♡
今日は見るだけのつもりだったけど
「こっちも頼むわ♡ 『命令』ね♡

う…♡
はい…んら…♡
「奉仕をさせていただきます…♡

「おめい」

お？
串刺しフマツク…♡
いいね♡

「おねい」のちも…♡
おっさんも後で…♡
しても…♡

「おめい」

「おめい」

「おめい」

「おめい」

「おめい」

「おめい」

「おめい」

—そうそう喉奥でね♡
わかってんじゃない♡

「うん」♡
お口に集中して「う」がちが
ゆるくなってるよ♡

そういう時は思い切り
子宮潰してやったら締まるっす♡

くっつきっぱなし

ぬるぬる

すっす

すっす

うん

うん

お♡お♡
ほんとだ♡うんよお♡
それにしても「」の字の「」と
使い慣れてるんだねえ♡

まあ良く借りてるんで♡
それにしてもあのヤミちゃんが
汚いオッサンに犯されながら
ロマ●コで抜いてくれるなんて
考えてみりゃ感激だなー♡

ちよっ♡
汚いはびどいんじやないの猿●君♡

まあまあ♡
うー♡♡ そんなに汚すぞー♡



おっぱい
お尻

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい
お尻

おっぱい

あー出た出た♡
こんな射精したの久しぶりだよ♡

ふー♡
俺もすっかりしたっすわ♡
ほらいつものように
ザーメン全部飲むんだぞ♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

ボクまだ全然満足してないんだけど
コレいっままで使っていくの？
まさか一発で終わりじゃないよね？
満足するまで付き合っつすよ♡
今日はそういうコンドームの動画
撮りに来たんで♡

やったー♡

それじゃあ今日は帰さないからね♡
えーと、ヤミちゃんっていつんだっけ？



——いっままでヤッてんすが♡
てかさすがに絶倫すぎたわ♡

どんどん具合がよくなるもんだから
らへんせも世の中はいい♡

ニム

ニム

ニム

ニム

ニム

ニム

ニム

ニム

ニム

——もう、このままならぬのですよ♡

外で出しているから
ナマでもらえるよ♡

可愛そ♡♡♡
校長にお仕置きされるの
ヤミちゃんなんすよ♡



びびる

——じゃあ僕にはなんの
問題もないね♡
まあ確かに♡
実は俺もよく膣内出しまで
してるんすよね♡

うわ♡ ずっる♡
じゃあ僕もいいよね♡
たっぷり子作りセックス楽しもうね♡

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ



びびる

びびる

ハハハハハ

——目が暮れてきたっすよ♡
どんな体力してんすか♡

ヤミちゃんのフタ声聞いてたら
まだまだ精子作れるよ♡

うーわ♡
しっかしさすがに「これは
いくら美少女でも台無しっすねえ笑

カクカク

いやペンとかフックとか
持ってきたの猿山○君でしょ笑

似合うと思ったんすよね♡
それにフタ声で鳴いてんのは
オッサンの『命令』のせいだよ♡

まあね♡

よーしもっひと頑張りしちゃって♡
絶対孕ませてあげるから
ザーメン子宮でっしかり受け止めてね♡





Handwritten pink calligraphic text on the left side of the image, including the characters "おっぱい" (nipples) and "お尻" (buttocks).

Handwritten pink calligraphic text near the girl's back.

Handwritten pink calligraphic text near the girl's hair.

Large handwritten pink calligraphic text forming a box around the girl's head.

Handwritten pink calligraphic text in a speech bubble on the right side of the image.

Small handwritten pink calligraphic text near the girl's hand on the floor.

Small handwritten pink calligraphic text on the girl's bikini bottom.

—ようやく綺麗になりましたねえ♡
どこの誰ともわからない精液まみれ
でしたからなあ♡

こんどは…なにを…ッ
言うことは…聞いているでしよ…ッ

猿○君に貸し出しはしましたが
オマ○コまで許可した覚えはありませんからな♡
もちろんお仕置きですぞ♡



あれは…私のせいじゃ…
彼らが…ムリヤリ…ッ

でも犯されて
中出しだけでも20回ほど
絶頂しましたな？

な…あ…ッ

全部お見通しですよ♡
ヤミちゃんのナンマシンの状態は
すべてモニターしておりますからな

—それだけエッチになったのは
喜ばしいですがね♡
ご主人様のオナホを勝手に
他人に使わせるのは感心しませんな♡



—なので浮気なヤミちゃんには
そるそる普通のおチ○ポ
では満足できない体になってもらおうかな♡

う…あ…ッ

な…んですか…それ…ッ

協力者の方にお願いで
トランス能力で作っていた
特性触手チ○ポですぞ♡

いや…ッ

いやです…それ…ッ

「チ○ポ…」

「あ…」

「あ…」

「…」

「んんん」

「んんん」

——おん♡
そのその慣れを来ましたかな♡
そのその慣れが強いのよ♡

ちが…「れ…♡」
気持ちよ…♡

「ん…♡」
ヤミちゃんのお腹を
まよめて責められる♡
してあげますから♡

や…お…♡
「ん…♡」
イ…お…♡

「ん…♡」
お仕置きなのは何一人
イ…お…♡

「ん…♡」
「ん…♡」

「ん…♡」
「ん…♡」

まだまだ
我慢ですぞ♡

「ん…♡」

「ん…♡」

「ん…♡」



—本番は「これからですから」な♡

ひ…ちゃん♡
何か…おしり…あたって…♡

せっかくアナル用の触手も
作ってもらいましたからな♡
「これでヤミちゃんの穴を
まとめて使えるよ」になりましたぞ♡

あ…ま…つ…て…♡
いま…そんなの…♡

ヤミちゃんはケツ穴のほつが
す…いいキ方しますからなあ♡
——「」からは自由に乱れて
構いませんぞ♡



「あ…ま…つ…て…♡」
「いま…そんなの…♡」

「あ…ま…つ…て…♡」
「いま…そんなの…♡」

おっ…おっ…ほ…ん♡
ま…「れ…ず…ん…ん…ん♡

その表情♡ むほ♡
ヤミちゃんのイキマ○コエアナルの締め付けが
同時に味わえるのは幸せですなあ♡

お…深…ツ
「のイキ方…らめ…ツ♡
もど…て…「れな…ん♡

おほ♡
私もそろそろ「度雷しますぞ♡

「れ…れ…ん…ん…ん♡

「れ…れ…ん…ん…ん♡

「れ…れ…ん…ん…ん♡

「れ…れ…ん…ん…ん♡

「れ…れ…ん…ん…ん♡

—あ—♡ —あ—♡

あ……♡
あ……♡

あ……♡

ヤミちゃんの中はくらくらしても聞かせますなあ♡
たっぷり飲むんです♡

あ……♡

「あ……♡」

あ……♡

まだまだ出ていますな♡
「のママヤミちゃんを私の
ザーメン袋」ってあげますぞ♡

あ……♡

あ……♡

あ……♡

あ……♡

あ……♡

あ……♡



—♡♡♡♡♡

もう十分くらい射精してますかな♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

—♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡



「ふー♡ すっきりですな♡

「一度の射精で」の量♡

さすが特注の触手チ○ポですな♡

おっぐ…ぐるし…ッ♡

いま…ぬいたら…ッ♡

「ぼしてはダメですぞ♡

ご主人様のお位置きサーメン

しっかり味わってください♡

むり…です…ッ♡

「んなの…もっ…ッ♡

そのまま一時間我慢出来たら
今日のお位置きは終わりですからな♡
頑張るんですぞ♡

ぐ…ぐるして…ください…ッ♡
も…でも…♡
あ…ッ…が…





——ぐんぐん♡
五回目の射精です♡
次からはしっかりと漏らさず我慢するんです♡

ぐんぐん♡

ぐんぐん♡
ぐんぐん♡

ぐんぐん♡

ぐんぐん♡

ぐんぐん♡
ぐんぐん♡

ぐんぐん♡

ぐんぐん♡

ぐんぐん♡



—ダメですなあ♡
この有様では今日は帰れなそうですなあ♡
ヤミちゃん♡

アハハハ

アハハハ

アハハハ
アハハハ
アハハハ

アハハハ
アハハハ
アハハハ

アハハハ
アハハハ

アハハハ

アハハハ

アハハハ

——むむむむ♡

お待ちせいたしましたな
「ちろですぞ♡

——むむ

その様子だと上手くやったようだな

おかげさまで♡

いただいたハッキングツールのおかげで
たっぷり楽しませてもらいましたぞ♡

それはなによりだ

まずは『モノ』を見せてもらおうか



——さてどんな気分だ？ 金色の闇……
「これからお前は宇宙の果てに
売られることになるわけだが

をむじい♡

今のマカちゃんには聞かせてないかもしれませんが……





アホな！

アホな！

アホな！

アホな！

アホな！

アホな！

アホな！

アホな！

残念ですが…ヤミちゃん
お別れのようにですな♡

安心しろ
条件は忘れてはいない
『3』の今後の記録もすべて
お前に届く手はずになっている

むふふ♡ そつですか♡
自分で調教できないのは残念ですが
愛しのヤミちゃんが
他人の手で壊されていくのを見るのもまた
興奮しますねえ♡

ス…ア…ア…

ア…

ア…

ア…

ア…



